

プチファーブル 熊田千佳慕の世界展

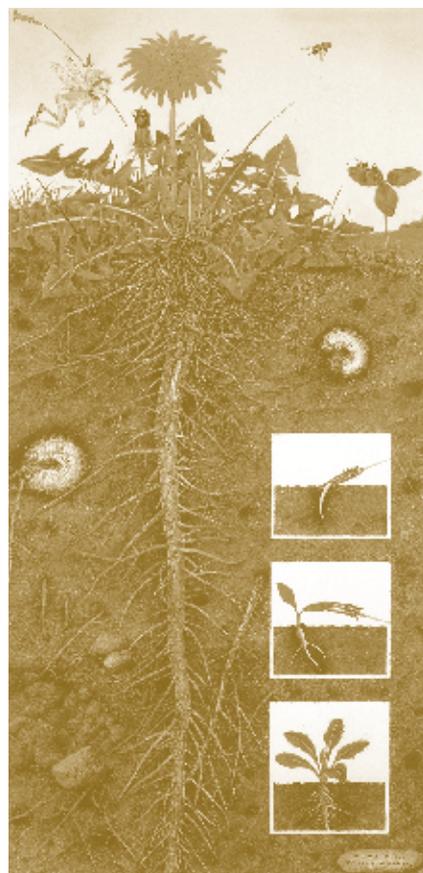
2012年 7月20日(金) - 9月6日(木)



「J・H・ファーブル展」でファーブルの帽子をかぶり、顕微鏡をのぞきこむ千佳慕

熊田千佳慕(くまだ ちかぼ 1911 - 2009 本名:熊田五郎)は、横浜市に生まれ、東京美術学校在籍中に、兄の友人であった山名文夫に師事します。1935年、名取洋之助主宰の「日本工房」にデザイナーとして入社。土門拳らと日本文化を紹介する写真誌『NIPPON』の刊行に携わりました。横浜大空襲で被災後、児童雑誌の仕事を手がけたことがきっかけで絵本画家の道を進み、『ふしぎの国のアリス』や『みつばちマーヤ』の挿絵などを描きます。幼少のころから父や兄の影響でファーブルに魅せられていた千佳慕は、「見て、見つめて、見きわめる」という過程の重要さに気づき、筆先だけに絵具をつけて線で面を描く画法により、写實的に虫や花を描きました。ライフワークとしてファーブル昆虫記の世界を描き続け、1981・83年と2回にわたり『絵本ファーブル昆虫記』でポーロニャ国際絵本原画展入選。1989年神奈川県立博物館の「J・H・ファーブル展」では原画を展示。プチ・ファーブルと賞賛を受けます。

本展では、千佳慕のおよそ100点の原画を展示、自然を愛しながら、命の尊さを描き続けた千佳慕の魅力に迫ります。



「タンポポの地下断面図」
© KUMADA CHIKABO



「春の花園」

●イベント

■ギャラリートーク 「絵本原画にみる虫の世界」

講師：山屋茂人長岡市立科学博物館館長

①7/21(土) ②8/5(日) 14:30~15:30

③8/26(日) 13:30~14:00 申込不要 要観覧券

■ワークショップ 「昆虫標本をみて絵を描こう」

お話を聞きながら作品鑑賞のあと、標本を観察して虫を描きます。

8/26(日) 13:30~16:00

※8/10(金)より申込(定員15名 先着順) 要観覧券

■喫茶ムジナ

アトリエが期間限定の喫茶になります。お茶を飲みながら、虫のアクセサリー作りのワークショップに参加できます。

7/21(土)・22(日)、8/11(土)・12(日)

メニュー：オーガニックコーヒー、ぶどうジュース など

場所：アトリエ 10:00~16:30



- JR長岡駅大手口11番線から見附経由栃尾車庫前行バス60分(または同駅東口4番・5番線から栃尾車庫前行バス45分)「中央公園前」下車、徒歩15分。または終点「栃尾車庫前」下車、タクシーで5分。
- JR長岡駅東口からタクシーで20分。
- JR見附駅からタクシーで20分。
- 関越自動車道長岡ICからR8長岡大橋経由、R351で40分
- 北陸自動車道中之島見附ICからR8経由、R351で30分。

長岡市栃尾美術館

〒940-0237 新潟県長岡市上の原町1-13
TEL.0258-53-6300 FAX.0258-53-6370
<http://www.lib.city.nagaoka.niigata.jp/museum/>

次回展覧会のお知らせ

描く希望と喜び 若井宣雄の世界

9月15日(土)~
11月25日(日)

郷土の洋画家若井宣雄
(わかいのぶお)の生涯の
画業を振り返ります。



「雪の花市」F100号